

平成25年度 当初予算（一般会計）のポイント

本市の財政基盤を支えてきた市税収入は、ピークであった平成20年度の146億円から、平成25年度当初予算では、およそ40億円減収の108億円の見込みです。また、中期財政見通しにおいては、後期基本計画第1次実施計画期間における事業推進のための財源は確保できるものの、平成27年度以降においては、現在の事業規模を維持することは極めて困難な見通しになっています。

このような中で、平成25年度当初予算は、「第1次総合計画の着実な推進」、「行財政改革大綱の強力かつ着実な推進」、「中期財政見通しとの整合」の3点を重点的事項として掲げ、後期基本計画を着実に推進するとともに、財政の健全化に向け、「選択と集中」を基本姿勢に、市民の暮らしの質の維持・向上を図る施策・事業の優先など、限られた財源を有効かつ適切に活用した予算としています。

なお、平成25年度当初予算における留意事項を以下に示します。

★1 後期基本計画の2年目として、施策を着実に推進する

将来都市像の実現をめざし、後期基本計画に位置付けた各施策を着実に推進し、市民サービスの維持・向上を図る。

★2 強力かつ着実な行財政改革により財源不足を圧縮する

「歳出構造の刷新」「歳入改革の推進」を強力かつ着実に推進し、今後の急激な社会経済情勢の変化にも対応できる持続可能な行財政構造を構築する。

★3 中期的な見通しにより予算を編成する

財政的視点から後期基本計画の実効性を高める「中期財政見通し」を基本として予算編成を行う。

予 算 全 体 の 姿
【平成25年度 亀山市当初予算資料参照】

◆標準予算 17,286,136 千円(うち一般財源 13,602,165 千円)

◆政策予算 3,658,964 千円(うち一般財源 1,408,045 千円)

＜総合計画の基本施策体系別予算＞

1. 快適な都市空間の創造

予算: 1,252,610 千円 (うち一般財源 290,333 千円)

2. 市民参画・協働と地域づくりの推進

予算: 27,769 千円 (うち一般財源 22,474 千円)

3. 健康で自然の恵み豊かな環境の創造

予算: 1,100,002 千円 (うち一般財源 324,616 千円)

4. 生きがいを持てる福祉の展開

予算: 251,131 千円 (うち一般財源 147,143 千円)

5. 次世代を担う人づくりと歴史文化の振興

予算: 780,287 千円 (うち一般財源 411,361 千円)

行政経営

予算: 247,165 千円 (うち一般財源 212,118 千円)

平成25年度 基本施策の大綱に基づく施策の推進

第1次総合計画の推進のため、後期基本計画・第1次実施計画に掲載した事業のうち、平成25年度に実施する主要事業を基本施策の大綱別に示します。

<表の見方>

◇ 事業の名称の記号

☆：平成25年度から実施する新規事業

◇ 戦略プロジェクト番号

後期基本計画に位置付けた戦略プロジェクトについて、事業毎に該当する番号を記載

- ①【戦略プロジェクト1】まち守りプロジェクト
- ②【戦略プロジェクト2】まち磨きプロジェクト
- ③【戦略プロジェクト3】みんな健康プロジェクト
- ④【戦略プロジェクト4】子ども輝きプロジェクト
- ⑤戦略プロジェクトの推進力を高める取り組み

1 快適な都市空間の創造

平成25年度に実施する主要事業		戦略プロジェクト番号
産業振興奨励事業	【商工業振興室】	
農業者育成支援事業	【農政室】	
林業生産活動支援事業	【森林・林業室】	
都市計画見直し事業	【まちづくり計画室】	
亀山駅周辺再生整備計画策定事業	【まちづくり計画室】	②
住宅リフォーム助成事業	【建築住宅室】	
民間活用市営住宅事業	【建築住宅室】	
地震対策・木造住宅補強事業	【危機管理室】	①
都市計画道路整備事業（和賀白川線）	【まちづくり整備室】	
都市計画道路整備事業（野村布気線）	【まちづくり整備室】	
道路新設改良事業（道野12号線）	【まちづくり整備室】	
☆ 道路新設改良事業（名越7号線）	【まちづくり整備室】	
橋梁耐震化補強事業	【まちづくり整備室】	①
橋梁長寿命化修繕計画策定事業	【維持修繕室】	
地域生活交通再編事業	【商工業振興室】	

2 市民参画・協働と地域づくりの推進

平成25年度に実施する主要事業		戦略プロジェクト番号
地区コミュニティセンター充実事業	【市民相談協働室】	②
地域コミュニティのしくみづくり支援事業	【市民相談協働室】	⑤
市民活動応援事業	【市民相談協働室】	
ホームページ情報発信事業	【情報統計室】	

3 健康で自然の恵み豊かな環境の創造

平成25年度に実施する主要事業		戦略プロジェクト番号
がん検診推進事業	【健康推進室】	③
予防接種費用助成事業	【健康推進室】	③
三重大学亀山地域医療学講座支援事業	【健康推進室】	③
総合環境研究センター事業	【環境保全対策室】	
新エネルギー普及支援事業	【環境保全対策室】	
飛灰再資源化事業	【廃棄物対策室】	
☆ し尿処理施設長寿命化事業	【廃棄物対策室】	
ごみ溶融処理施設長寿命化事業	【廃棄物対策室】	
森林環境創造事業	【森林・林業室】	①
中山間地域等直接支払交付金事業	【農政室】	
田園景観推進事業	【農政室】	②
☆ 震災対策農業水利施設調査事業	【農政室】	①
☆ 北東分署建設事業	【消防総務室】	①
三重県消防救急無線デジタル化整備事業	【消防総務室】	

4 生きがいを持てる福祉の展開

平成25年度に実施する主要事業		戦略プロジェクト番号
図書館改修事業	【図書館】	
総合型地域スポーツクラブ育成事業	【文化スポーツ室】	④
地域包括支援事業	【高齢障がい支援室】	
地域生活支援事業	【高齢障がい支援室】	
介護予防事業	【高齢障がい支援室、健康推進室】	③
高齢者・障がい者(児)タクシー料金助成事業	【高齢障がい支援室】	
障害者総合相談支援センター事業	【高齢障がい支援室】	
福祉医療費助成事業（心身障がい者）	【保険年金室】	④
福祉医療費助成事業（子ども）	【保険年金室】	

5 次世代を担う人づくりと歴史文化の振興

平成25年度に実施する主要事業		戦略プロジェクト番号
亀山東小学校整備事業	【教育総務室】	④
川崎小学校改築事業	【教育総務室】	④
白川小学校耐震改修事業	【教育総務室】	①
少人数教育推進事業	【学校教育室】	④
中学校給食実施事業	【学校教育室】	
情報教育推進事業（小学校）	【教育研究室】	④
情報教育推進事業（中学校）	【教育研究室】	
学校図書館支援事業	【教育研究室】	④
図書館子ども読書活動推進事業	【図書館】	④
外国語指導助手配置事業	【学校教育室】	④
個の学び支援事業（幼稚園）	【学校教育室】	④
個の学び支援事業（小学校）	【学校教育室】	
個の学び支援事業（中学校）	【学校教育室】	
妊婦健康診査支援事業	【健康推進室】	
放課後子ども教室推進事業	【生涯学習室】	④
かめやま文化年事業	【文化スポーツ室】	②
屋根のない博物館創出事業	【歴史博物館】	②
鈴鹿関跡範囲確認調査事業	【まちなみ文化財室】	
伝統的建造物群保存修理修景事業	【まちなみ文化財室】	②
☆ 関宿重伝建選定30周年記念事業	【まちなみ文化財室】	②
亀山城周辺保存整備事業	【まちなみ文化財室】	②
まちづくり観光推進事業	【観光振興室】	②

行政経営

平成25年度に実施する主要事業		戦略プロジェクト番号
行政情報システム事業（住民情報系）	【情報統計室】	
行政情報システム事業（内部情報系）	【情報統計室】	
地価調査・地番図整備事業	【税務室】	
本庁舎設備等改修事業	【財務室】	

平成25年度に取り組む主な事業について

◆1 都市計画道路整備事業（和賀白川線）

本市の産業発展と市民生活の期間を担う重要な道路ネットワークとなる環状線（市道亀田小川線～市道亀田川合線～国道306号線～県道鈴鹿関線～市道和賀白川線）については、平成25年度末の和賀白川線（南側区間）の供用開始により、環状線の南側部分の全てが結節されます。これにより、市の南北地域間の連携強化を図ります。

【平成25年度実施概要】

延長：568m 幅員：12m

鈴鹿川渡河橋（H23～H25）、舗装（H25）、補強土壁（H24～25）

◆2 市民活動応援事業

市民一人ひとりが、自らの想いを『市民活動応援券』に託し、市民活動団体を応援することのできる制度を確立し、平成25年10月（予定）にスタートさせます。

市が発行する『市民活動応援券』は、地区コミュニティへの配付を通じて、市民や市民活動団体などの間を流通し、登録団体への交付金の算出根拠となります。

【平成25年度実施概要】

制度周知、登録団体募集、市民活動応援券配付

◆3 北東分署建設事業

平成23年度に実施した常備消防力適正配置調査の結果、火災・救急における現場への到着時間を要する地点を多く抱える市北部に新たな消防分署を建設し、市全域の常備消防力の適正配置を進めます。

【施設建設の基本方針】

- ① 迅速な出動に対応できる庁舎 ② 災害に強い庁舎
- ③ 機能性に富んだ庁舎 ④ 人と環境にやさしい庁舎

【平成25年度実施概要】

設計、地質調査、用地測量

平成25年度 当初予算総括表

【歳入】

(単位:百万円・%)

	H25	H24	増減額	増減率
市税	10,867.8	10,407.5	460.3	4.4
うち固定資産税	6,613.5	5,869.8	743.7	12.7
地方交付税	1,030.0	1,259.0	△ 229.0	△ 18.2
国・県支出金	2,917.8	2,774.4	143.4	5.2
市債	2,423.6	2,873.7	△ 450.1	△ 15.7
うち臨時財政対策債	876.7	910.8	△ 34.1	△ 3.7
その他	3,705.9	3,864.2	△ 158.3	△ 4.1
うち財政調整基金繰入金	1,186.3	1,326.2	△ 139.9	△ 10.5
合 計	20,945.1	21,178.8	△ 233.7	△ 1.1

【歳出】

(単位:百万円・%)

	H25	H24	増減額	増減率
義務的経費	9,834.3	9,602.3	232.0	2.4
人件費	3,793.9	3,835.1	△ 41.2	△ 1.1
扶助費	3,261.0	3,010.0	251.0	8.3
公債費	2,779.4	2,757.2	22.2	0.8
投資的経費	3,296.5	3,797.0	△ 500.5	△ 13.2
その他	7,814.3	7,779.5	34.8	0.4
うち物件費	3,947.1	4,057.4	△ 110.3	△ 2.7
うち補助費等	1,116.6	1,097.4	19.2	1.8
うち繰出金	2,055.3	1,931.9	123.4	6.4
合 計	20,945.1	21,178.8	△ 233.7	△ 1.1

平成25年度 歳入歳出予算の全体イメージ

予算は、対前年度2億3,370万円(1.1%)の減

- ◆ 平成25年度当初予算（一般会計）は、対前年度1.1%の減少

(単位:百万円・%)

	H25	H24	H23	H22	H21.6
当初予算額	20,945.1	21,178.8	19,885.0	20,895.0	20,704.0
対前年度比	△ 1.1	6.5	△ 4.8	0.9	△ 10.5

※ 平成21年度は当初予算が骨格予算のため6月補正後予算額を記載

市税収入は、対前年度4億6,030万円(4.4%)の増

- ◆ 市税収入は対前年度4.4%の増加
うち固定資産税は、償却資産分の増収により12.7%の増加

(単位:百万円・%)

	H25	H24	H23	H22	H21.6
当初予算額	10,867.8	10,407.5	11,127.2	11,760.7	13,497.6
対前年度比	4.4	△ 6.5	△ 5.4	△ 12.9	△ 7.1

※ 平成21年度は当初予算が骨格予算のため6月補正後予算額を記載

普通交付税は、対前年度2億2,900万円(21.6%)の減、臨時財政対策債を加えると2億6,310万円(13.4%)の減

- ◆ 地方交付税のうち普通交付税は、市税収入の増加などにより、対前年度21.6%の減少となり、臨時財政対策債を加えると13.4%の減少

(単位:百万円・%)

	H25	H24	H23	H22	H21.6
当初予算額	1,706.7	1,969.8	1,475.8	1,380.5	1,190.2
普通交付税	830.0	1,059.0	629.0	419.0	454.0
臨時財債	876.7	910.8	846.8	961.5	736.2
対前年度比	△ 13.4	33.5	6.9	16.0	54.4

※ 平成21年度は当初予算が骨格予算のため6月補正後予算額を記載

義務的経費は、対前年度2億3,194万4千円(2.4%)増

- ◆ 人件費は、退職手当など職員手当の減により約4,100万円(1.1%)の減
- ◆ 扶助費は、民間保育所児童保護費や介護給付費等の増により約2億5,100万円(8.3%)の増
- ◆ 公債費は、約2,200万円(0.8%)の増

投資的経費は、対前年度5億52万8千円(13.2%)減

- ◆ 投資的経費の減少要因は、主に和賀白川線整備事業、野村布気線整備事業の事業費減による

基金の有効活用

- ◆ 財政調整基金11億8,630万円、減債基金3億3,000万円、土地開発基金9,269万円などを活用

<参 考>

平成25年度に取り組む、主な事業について、概要を添付しています

▽都市計画道路整備事業（和賀白川線）

▽市民活動応援事業

▽北東分署建設事業

都市計画道路整備事業(和賀白川線)

平成17年度から整備を進めてきた「市道和賀白川線(南側区間)」は、平成24年度にJR関西本線を跨ぐJR跨線橋が完成し、引き続き鈴鹿川を渡る鈴鹿川渡河橋梁を整備するとともに、全区間の舗装工事等を実施。

平成25年度末の供用開始(予定)

市街地を取り囲む基幹的な環状線整備が大きく前進

【市道亀田小川線～市道亀田川合線～国道306号線～県道鈴鹿関線～**市道和賀白川線**】

鈴鹿川を挟んだ南北間の連携強化

和賀白川線(南側区間)整備概要

延長:568m 幅員:12m

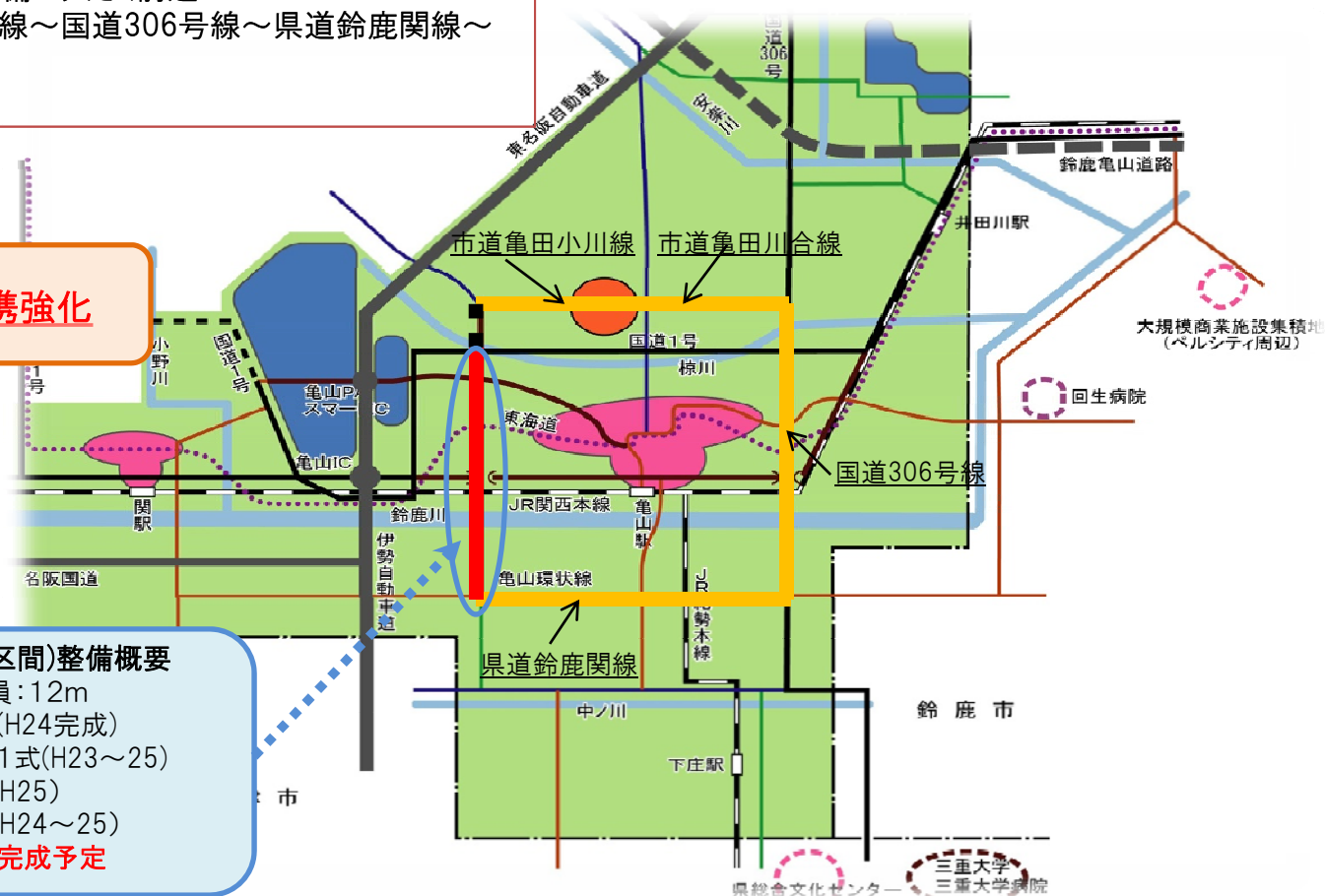
JR跨線橋 1式(H24完成)

鈴鹿川渡河橋 1式(H23～25)

舗装工事 1式(H25)

補強土壁 1式(H24～25)

H26. 3完成予定



市民活動応援事業

『市民活動応援券』により、
市民一人ひとりが市民活動を応援できるしくみとなる
市民活動応援制度が平成25年10月スタート！

・市民活動団体の自立・活性化
・地域の活性化

市民活動応援制度の概要

【目的】

市民活動応援券の活用により、市民活動の自立・活性化を図り、地域の活性化に繋げる。

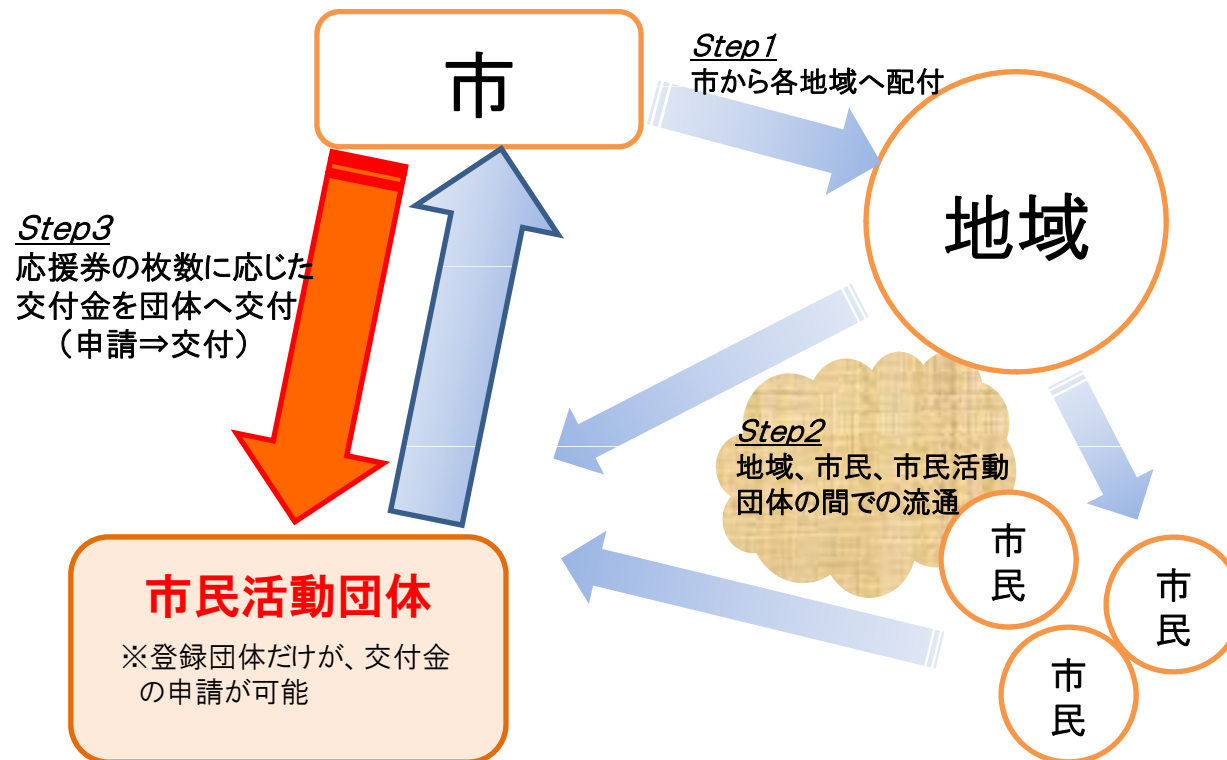
【市民活動応援券】

- ・市が発行する
- ・有効期限は単年度。
(初年度のみH25.10～H27.3)
- ・登録団体のみが、交付申請が可能

【登録団体の要件】

- ・住所、活動拠点が市内
- ・非営利団体
- ・継続的な活動実績を有する
- ・公益的な活動団体
などの要件を満たす団体

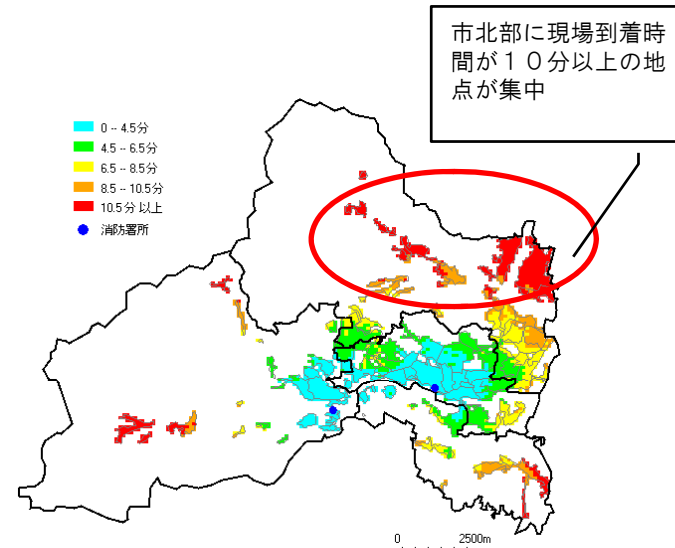
市民活動応援券の主な流れ



市内各地域への火災・救急の到着時間

	人口 [人]	世帯数 [世帯]	出動所要時間(平均)[分]	
			火災	救急
亀山市中央部	17,175	7,549	4.2	4.0
亀山市南部	4,925	1,873	7.1	7.2
亀山市北部	20,987	7,879	9.2	9.2
亀山市関地区	7,124	2,867	5.1	6.5
計	50,211	20,168	6.5	6.5

市域を4つの区域に分割したときの火災・救急の現場到着時間を見ると、火災・救急ともに平均で9.2分と、最も速く到着できる市内中央部に比べ、5分の差がある。また、この市北部は、人口集中も見られる区域であり、現場到着までの時間短縮が課題となる。



常備消防力適正配置調査報告書(H24.3)より

【北東分署建設事業】

市北部地域の、火災・救急現場への到着時間短縮を、最も効果的に実現できる場所に、新たな分署を建設することで、市域の消防力の適切な配置を進める。

【施設建設の基本方針】

- ① 迅速な出動に対応できる庁舎
- ② 災害に強い庁舎
- ③ 機能性に富んだ庁舎
- ④ 人と環境にやさしい庁舎

【事業計画】

総事業費：500,000千円

H25：49,000千円

建設準備経費(設計等)

H26：451,000千円

用地購入費、建築工事費など

※財源には、合併特例債を活用